

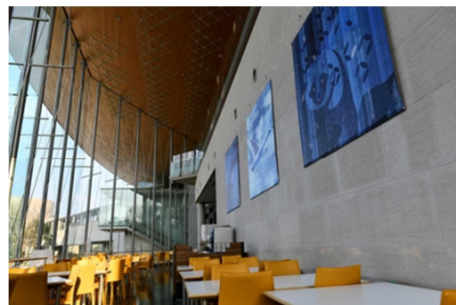
平成 30 年度の博物館の状況について

資料 1

1. 来館者(4月～8月) 231,682人 (前年同期比 11,000人増加)
倶楽部 LBM (年間パスポート) 会員数 8,800人 (7月末)
2. 平成 30 年度前期の主な行事・活動
 - 2-1. 第 2 期リニューアルオープン
春休み: ショップ (3月 24日), レストラン・別館 (4月 2日)
夏休み直前: ディスカバリールーム、おとなのディスカバリー (7月 6日)
内覧会 (7月 4日) 580人参加
展示関係者、博物館関係者、旅行社、観光施設、地元の方々等



ミュージアムショップ



レストラン



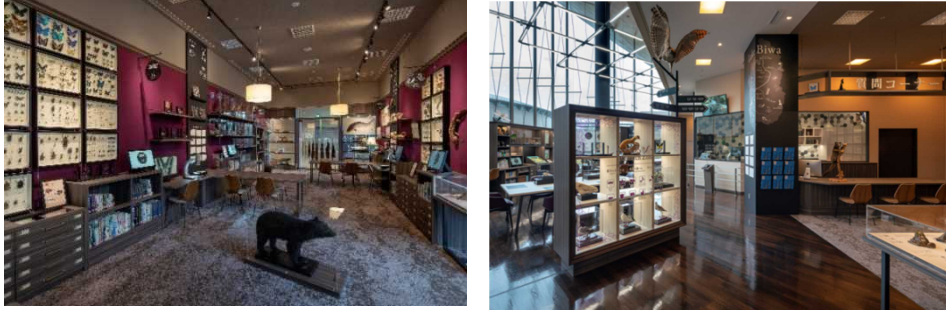
湖南農業高校生徒とのコラボで
作ったびわ湖カレー



別館昼食場所



ディスカバリールーム



おとなのディスカバリー

2-2. 展示活動

(1) ギャラリー展示

①伊藤園俳句フォトコンテスト作品展 (3/27-4/22)

②描かれた湖国の生き物と風景 (4/28-6/3)

滋賀県立近代美術館との共催

(2) 企画展示

化石林 「ねむる太古の森」(7/21-11/25)

水族企画展示 「琵琶湖に固有な魚たちの歴史」(7/21- 9/2)

(3) トピック展示・常設展示の更新等

A 展示室

「近江の平成雲根志-鉦山・鉦物・奇石」の石達 (2/1 - 9/30)

B 展示室

「近江水産図講」の世界-明治期の琵琶湖漁撈(3/20-5/27)

「汽船と鉄道」(明治150年記念関連展示)(5/29-7/22)

「琵琶湖疏水」明治150年記念関連展示(7/24-9/30)

C 展示室

「研究スタジアム」更新(7/9) 第3期

水族企画展示室

「57年ぶりの新種発見! ~タニガワナマズ *Silurus tomodai*~」

(9/8-11/25)



タニガワナマズ

マイクロアクアリウム

水田のエビたち（5～6月） マミズクラゲ（2月～10月）

アトリウム

「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール作品展示（～4/8）

＊JA共催事業

おとなのディスカバリー

雌雄モザイクカブトムシ（7月12日～ ）

黄色いオタマジャクシ（7月20日～ ）

ディスカバリールーム

かいこ絵日記をつくろう



雌雄モザイクカブトムシ



黄色いオタマジャクシ

2-3. 交流

フィールドレポーター 登録 207 名 オオキンケイギク調査

はしかけ 登録 356 名 24 グループ

地域連携 33 件（館内 15、館外 18）

学校団体来館者数 202 校、19,052 人

学校団体体験実施数 45 校、4,174 人

別館利用者(予約のみ) 48 団体、4,111 人

2-4. 資料収集・整理・活用

資料整理点数(8/31 現在)

地学：835 点、植物：314 点、昆虫（乾燥）：2,336 点

昆虫（液浸）：113 点、貝類：107 点、魚類：397 点、

鳥類：9 点

合計：4,111 点

2-5. 研究

研究時間確保のための調査

研究成果発信

研究セミナー6回/18件、学会・研究発表会13件
原著論文9件、専門分野の著述4件、一般向け8件
新聞連載 4紙（毎日・京都・中日・産経）
ブックレット6、7巻発刊

海外研究機関との連携

韓国洛東江生物資源館との研究連携の推進

7月23-26日 滋賀県ほかにてエビ調査、

9月3-6日 共同セミナー（洛東江）

12月3日 共同セミナー（琵琶湖博物館）



ブックレット第7巻

《平成30年度活動実施一覧（別紙）》

2-6 今後の主な行事予定

11月3日 樹冠トレイルオープン

11月17日、18日 びわ博フェス

12月 琵琶湖博物館・洛東江生物資源館合同セミナー

12月16日 琵琶湖地域の水田生物研究会

1月26日、2月23日、

3月23日 新琵琶湖学セミナー

「森と水辺の物語—新しい歴史をつくる」

2-7 広報・営業活動

企業・団体への営業活動 リニューアルに対するご支援

寄付金 206社 8,631万円 平成27年度～30年度8月累計

・寄付金・連携のための仕組み

リニューアルサポーター

メンバーシップ

水槽サポーター

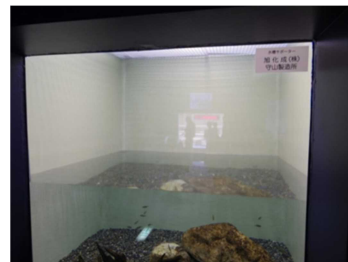
キャンパスメンバーズ 5大学

樹冠トレイルサポーター

クラウドファンディング(9/3-10/31)



企業銘板



水槽サポーター